

— 第一人者から直接学ぶ PEGのトータルサポート —

時下、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

PEGドクターズネットワーク(PDN)では、セミナーを通して、『PEGについての正しい適応・安全な手技・責任ある管理体制を確立することで、PEGに関わる全スタッフの知識の格差をなくす』ことを目的としております。今回のセミナーでは、特別講演として遠く山形県より高橋美香子先生をお招きし、御講演を頂くこととなっております。高橋先生はPEGの造設では世界で最も多く症例数を経験され、多数の著書も執筆されている第一人者です。また日常診療においては、地域病院の最前線でPEGの管理に携わり、在宅管理の経験も豊富です。特別講演では、現場で直にPEGに接する医師としての「PEGを最大限に活かす方法」について、貴重な御意見を頂戴する予定となっております。

皆様方におかれましては、ご多忙中とは存じますが、大変貴重な機会であり、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

- ◆ 日時 2014年3月15日(土) 14:00~16:30 (開場 13:30)
- ◆ 場所 栄ガスビル 5階 ガスホール (別紙ご参照下さい)
- ◆ 参加対象 医師, 看護師, 薬剤師, 栄養士, リハビリ職ほか, PEGに係わる全ての医療スタッフ
- ◆ 参加費 500円

「開会の挨拶」 ふきあげ内科胃腸科クリニック 院長 蟹江 治郎 先生(仮)

【一般講演】

(司会・座長) 犬山中央病院 消化器内科部長 中江 治道 先生(仮)

『 シリーズ PEG管理のコツ 第五回 ～ 復習しよう! PEGの造設法と造設時の合併症 ～ 』

ふきあげ内科胃腸科クリニック 院長 蟹江 治郎 先生

『 (仮)当院における変性疾患に対する胃瘻の実態 』

名古屋第2赤十字病院 神経内科 辻河 高陽 先生

【特別講演】

(司会・座長) ふきあげ内科胃腸科クリニック 院長 蟹江 治郎 先生

『 胃瘻をとりまくトータルサポート ～胃瘻120%活用の手引き～ 』

鶴岡協立病院 内科 副院長 高橋 美香子 先生

「閉会の挨拶」 医療法人共和会 共和病院 副院長 谷口 正哲 先生(仮)

主催：NPO法人 PEGドクターズネットワーク、愛知PDN (<http://www.fukiage-clinic.com/aichi-pdn/>)

(仮) 協賛：株式会社大塚製薬工場、味の素製薬株式会社、株式会社メディコン、
クリエートメディック株式会社

(仮) 展示メーカー：伊那食品工業株式会社、株式会社三輪器械、テルモ株式会社

★ ウラ面の参加申込書にご記入の上、FAXお願い致します。

FAX送信方向

FAX:052-722-9118

当番担当:株式会社メディコン 大内

TEL:052-722-4373 E-mail s.ouchi@medicon.co.jp

会場の都合から人数に制限がございますので、3月13日までにお申し込み下さい。
満員になり、ご参加いただけない場合のみ、ご連絡させていただきます。
尚、席に余裕がある場合は、当日のご参加もお受けいたします。

第9回 **愛知IPDN** セミナー 参加申込書

ご施設名

ご連絡先(TEL)

お名前	職種	お名前	職種

お願い:参加者の欄が足りない場合は、当紙をコピーいただくか、参加者の総数をご記入ください。

●ご質問や日頃の管理でお困りな点などがございましたらご記入ください。

個人情報の取扱いについて

株式会社メディコンでは、個人情報に関する法令を遵守するとともに皆様の個人情報を保護することを重要な責務と考えております。本申込書にご記入頂きました皆様の個人情報に関しましては、原則として下記の目的にのみ利用致します。

- ①弊社が開催する本セミナー・展示会・発表会・研究会に関するご案内・ご参加の確認のため
- ②弊社が開催する本セミナーの業務上のご連絡、ご挨拶のため
- ③お問い合わせ・お申し出・ご依頼の対応のため
- ④官公庁等への届け出・報告・申請等のため

これら以外の目的に利用する場合は、予め法令に基づき、その目的を明示させていただきます。

【 特別講演 演者の紹介 】

医療ルネサンス No.5737

胃ろう再考

④ / 5

穏やかな最期を看取る

「胃ろうを造っても、造らなくても、穏やかな看取りはできます」

月山、鳥海山を望む山形県鶴岡市。鶴岡協立病院の副院長、高橋美香子さん(48)はそう強調する。

内視鏡を使って2000件以上、胃ろうを造る手術をしてきた。造るかどうかは本人や家族と相談して決めるが、造ったからには、食べるためのリハビリはもちろん、必要に応じて自宅や施設にも出向いて栄養管理をきめ細かく行い、最期の看取りも行う。

その日に訪れたのは、よしのさん(93)の家。4年前から脳梗塞で寝たきりになり、胃ろうを造った。リハビリも試みたが、現在の栄養は胃ろうが頼りだ。

栄養剤の注入をはじめ、介護にあたるのは娘の良子さん(62)。週2回のデイサービスを利用しながら、夜

は同じ部屋で寝て、必ず体位交換している。

よしのさんは昨年夏、栄養剤を入れると吐くようになったため、胃から管を延ばして小腸チューブにした。栄養剤のタイプを替え、注入量も減らすと安定した。「体が受け付けなくなってきたので、それに合わせて弱ってくると思いません」と伝えられている。



「調子はどうか？」。在宅療養のよしのさんに、高橋さんは明るく話しかける(山形県鶴岡市で)

認知症が進み、言葉は出ない。第三者の目には、声をかけても全く反応がないように映る。だが、良子さんには微妙な動きがわかるという。「歌やテレビが好きで、気分によって表情が少し変わる。機転が利き、冗談をよく言った母。顔を见ていると安心する。一日でも長く一緒にいたい」

鶴岡協立病院では、地域の医療・介護関係者にも呼

びかけ、毎月、胃ろう関連のセミナーを開いている。看取りもテーマの一つだ。高橋さんは自分のスタンスをこう説明する。

「胃ろうを造ったら、きちんと使いこなさず、上手に最期を迎えてもらうのがプロ。不幸な状態になるのは知識や技術が足りず、うまく使えていないからです」

胃ろうに対しては、寝たきりや重い認知症の状態でも人工的に栄養を受けて長く生きるのには尊厳を損なう、という議論がある。

高橋さんは「胃ろうにすれば少し長生きするけど、いつかは必ず衰えてくる。高額の治療費がかかる方法でもない」と言い、次のように問いかける。

「認知症が進行しても、その人を大切にして接すれば、何らかの反応はある。個性もある。人の尊厳とは活動性や生産性ではなく、一人ひとりの存在の価値。たとえ意思表示ができなくとも、穏やかに生きるの悪いことでしょうか」

連載「医療ルネサンス」は、月曜日から金曜日の週5回の掲載です

くらし 家庭

小川智子の

夕食

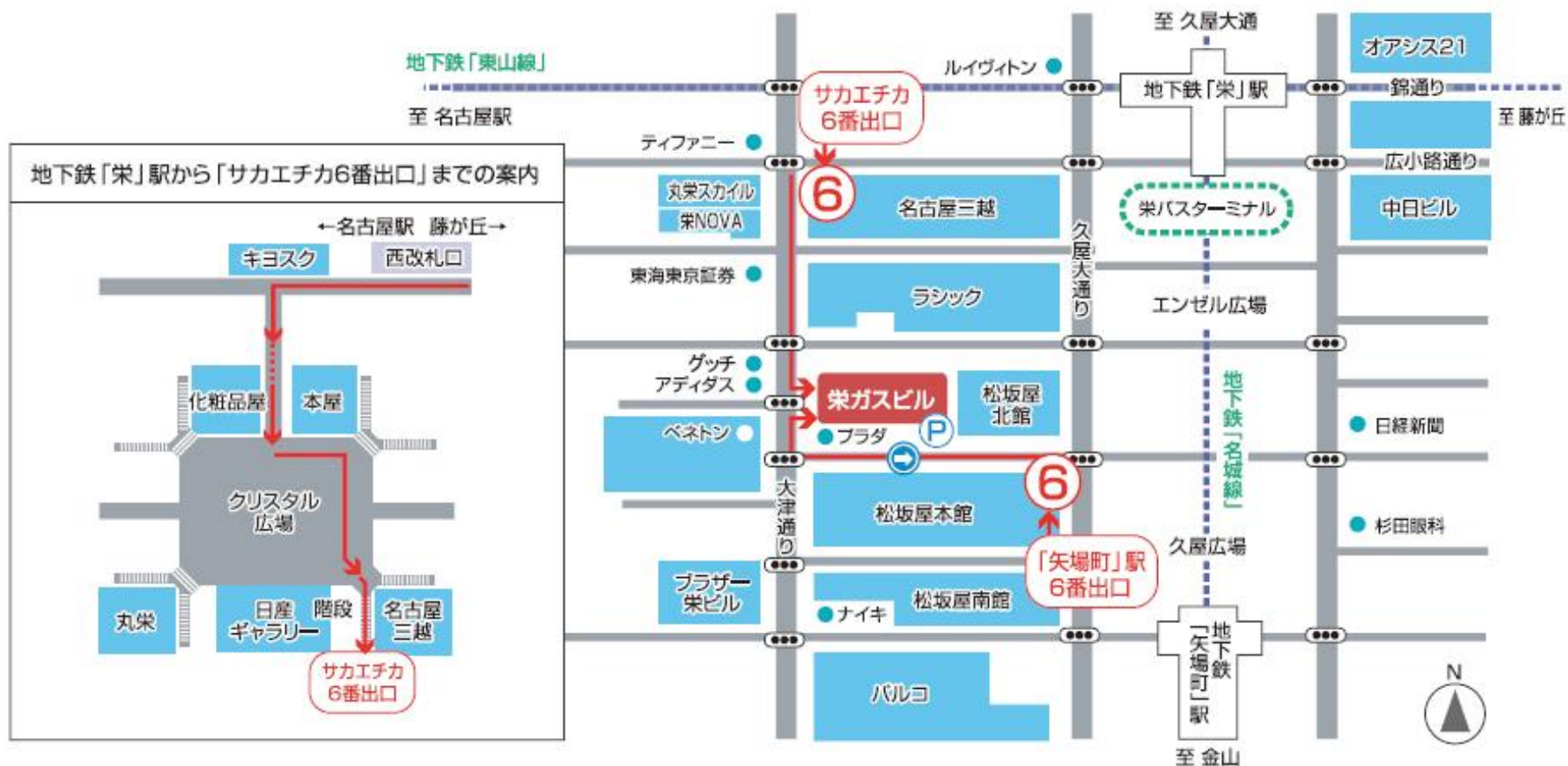
● 野菜の肉みそ田楽

(461kcal・塩分1.4g/1人)

えが残る程度にまでゆで、ざるにあけて水洗いする③サトイモは皮をむいて洗い、熱湯で下ゆでし水洗いする④ニンジン1cm厚さの斜め切りに、コンニャクは一口大の三角形に切り、順に下ゆでしてざるに上げる⑤土鍋に②～④を入

名古屋駅からの栄ガスビルまでのアクセスマップ

栄ガスビル 名古屋市中区栄3-15-33
 お問い合わせ 今池事務所 電話/052(732)3211 FAX/052(732)5691



■東山線を使用

1. 地下鉄「名古屋駅」より東山線（栄・藤ヶ丘方面）「栄駅」下車
 2. 地下鉄「栄駅」西改札口より南（三越方面）へサカエチカ街を直進
 3. つきあたりくサカエチカ 6 番出口より徒歩 3 分
- * 三越栄本店前より大津通沿いに南へ直進
 * 目印 松坂屋本館の手前

■東山線・名城線を使用

1. 地下鉄「名古屋駅」より東山線（栄・藤ヶ丘方面）「栄駅」下車
2. 地下鉄「栄駅」より名城線（新瑞橋・名古屋港方面）へ乗り換え、「矢場町駅」下車
3. 地下鉄「矢場町駅」6 番出口より徒歩 2 分

■桜通線・名城線を使用

1. 地下鉄「名古屋駅」より桜通線（新瑞橋・野並丘方面）「久屋大通駅」下車地下鉄「栄駅」西改札口より南（三越方面）へ
 2. 地下鉄「久屋大通駅」より名城線（新瑞橋・名古屋港方面）へ乗り換え、「矢場町駅」下車
 3. 地下鉄「矢場町駅」6 番出口より徒歩 2 分
- * 松坂屋本館の北側